

⑱松山市東石井・天山地区における電線共同溝PFI事業（施設整備完成）

受賞機関 国土交通省 四国地方整備局 松山河川国道事務所

キーワード PFI手法による電線共同溝整備、設計・工事を一体発注、複数年での事業契約、民間の資金や技術・ノウハウの活用

全建賞審査委員会の評価ポイント

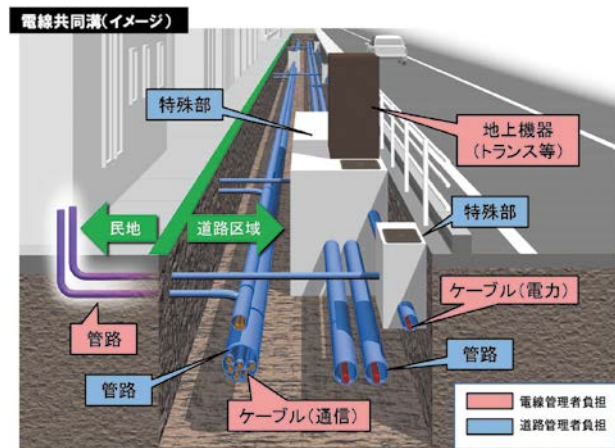
PFI手法による電線共同溝整備の取組。PFI手法を導入し、民間事業者のノウハウを活用することで無電柱化事業の課題に対処して、コスト縮減、早期供用、予算の平準化を実現している点や、他の地域の道路工事への活用が期待できる点が評価された。

1. はじめに

国道33号の松山市東石井・天山地区電線共同溝PFI[※]事業は、観光都市松山市の中心部にあり、松山ICから松山市の代表的な観光資源である松山城や道後温泉などに向かう主要アクセス経路に位置している。また、当路線は愛媛県地域防災計画において第1次緊急輸送道路に指定されていることから、電線共同溝を整備し無電柱化を図ることで災害時におけるライフラインの強化、緊急輸送道路の確保並びに良好な都市景観の向上、安全で快適な通行空間の確保が可能となる。

2. 事業の概要

当事業は「安全で快適な通行空間の確保」、「都市景観の向上」、「都市災害の防止」、「情報通信ネットワークの信頼性向上」などを目的とし、道路の地下空間を活用して電力線、通信線などをまとめて収容する無電柱化の手法である電線共同溝方式により整備するものであり、事業対象区域において電線共同溝の設計、工事及び維持管理を実施するPFI手法を導入した。

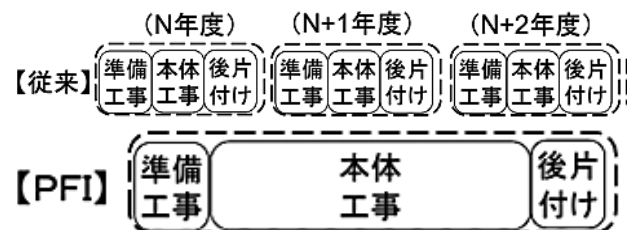


電線共同溝の整備イメージ

3. 事業の成果

平成28年12月「無電柱化の推進に関する法律」が成立し、無電柱化事業の推進が図られる中、「整備コストが高い」、「事業期間の長期化」、「電力・通信業者などの調整に時間を要する」などの課題があった。

今回、PFI手法を採用することで従来は各種設計・工事を年度毎に個別に発注し、その都度入札契約手続き、工事着手前の事前準備などに時間を要していたが、設計・工事を一体発注としたことにより、入札契約手続き、工事着手前の事前準備に要する期間が27ヶ月から12ヶ月となり、15ヶ月短縮できた。また、工事毎に仮設工事や資機材の搬入出等の準備・後片付けによる間接費用が生じていたが、工事毎に発生していた準備、後片付けの費用が1工事分で済むなど事業費を縮減できた。なお、複数年での事業契約としたこと及び民間の資金を活用したことで契約手続き回数の削減や割賦払いによる予算の平準化が可能となった。



PFI手法の効果

4. おわりに

PFI手法により民間の資金や技術・ノウハウを活用することでコスト縮減や事業調整の迅速化が図られるため、電線共同溝事業の更なる推進が期待できる。

【用語解説】

※PFI (Private-Finance-Initiative (プライベート・ファイナンス・イニシアチブ)) : 「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成十一年法律第十七号）」に基づき公共事業を実施するための手法である。

賛助会員 (株)長大、日本コムシス(株)